

ありのままに伝える
分析されざる人生の断片を



Book

『断片的なものの社会学』
岸 政彦／朝日出版社

路上のギター弾き、夜の仕事を
するシングルマザー…社会学者が聞き取り調査の現場で出会った「解釈・分析できないもの」を集めたエッセイ。意味を求めないリアルなエピソードから、それぞれの人生が
ありのままに伝わってくる。

異なる環境から見えてくる
本当に大切にしたいこと



『ベルリンうわの空』
香山 哲／イースト・プレス

Comic

自由きままなドイツ移住記。「なんの気なしに来てみたら心に余裕がもてていた」という著者が、平凡な日常にあるささやかなものを集めて漫画にしている。日本とは異なる仕組み・文化でのエピソードを通じて、現在の自分を客観視できる。

書籍や漫画、音楽、ゲーム…etc.

余白へのアクセス 10選

時間やタスクに追われる日々に、ちょっとした余白をもたらしてくれそうな、さまざまなものを集めてみました。
立ち止まっていつもと違う角度から物事を眺めてみると、新たに見えてくることもあるかもしれません。
時には余白に導かれる世界を楽しんでみてはいかがでしょうか。

コミュニケーションにおいて
沈黙は武器になる



『沈黙の会話力』
谷原 誠／フォレスト出版

Book

会話中に沈黙が生まれると不安になり、余計な話で間を埋めようとする人は多い。本書では、沈黙のもたらす効果や、沈黙を有効に使うテクニックが書かれている。沈黙は恐れるものではないと勇気もらえる。

多忙を極める先生方に
信頼に基づく「塩対応」を伝授



Book

『先生のための 塩対応の技術』
峯岸久枝／学事出版

関わる人が多く多忙を極める先生方に、がんばりすぎない、信頼関係に基づく「塩対応」を提案。生徒、保護者、同僚などからの相談や依頼にどう対応したらよいか、ケース別に具体的な対応方法を解説している。

Music



沈黙のなかにある音を聴く
クラシック音楽

『4分33秒』ジョン・ケージ
(写真提供：神奈川フィルハーモニー管弦楽団)

ジョン・ケージが作曲した『4分33秒』は、楽譜に休符だけが書かれた作品。演奏者は楽器を奏でず、聴衆はその場に偶然に起こる音を音楽として聴く。沈黙とは無音ではなく「意図しない音が起きている状態」という考えに基づく。

モラトリアムの日々の葛藤と、
その緩やかな肯定

『ひらやすみ』
真造圭伍／小学館

Comic



一戸建ての平屋で暮らす29歳フリーターと、周囲の人々との交流を描いた漫画。モラトリアムの日々の葛藤とともに、目的をもたずにその場を楽しむことや、疲れたら立ち止まることなどに対する緩やかな肯定が伝わってくる。

「待つ」ことが好機を生むことも。
流れに身を任せて楽しむ

Game

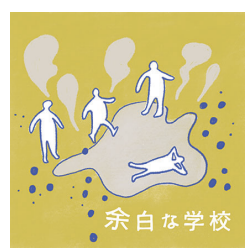
スイカゲーム
Aladdin X株式会社

※照明一体型プロジェクト「Aladdin X(アラジン エックス)」搭載ゲームNintendo Switchバージョン



果物を落として同じ種類のものをくっつけて進化させ、ハイスコアを目指すゲーム。果物はゆるやかに動き、じっと待つとくっついたり、1つの果物が全体を大きく動かしたり。スピードは競わず、流れに身を任せる楽しさが人気。

Podcast



余白な学校
株式会社rokuyou／NPO法人青春基地

公立高校と連携して新しい学びづくりを実践・研究するメンバーが送るポッドキャスト。無駄のメカニズムの研究者、システム思考教育家などさまざまなゲストとオープンに学びや学校を語り合い、学校の固定概念を解きほぐしていく。

多彩なゲストと共に
学校の固定概念を解きほぐす

不完全さをさらけ出し
相手と信頼関係を育む



Robot

弱いロボット
豊橋技術科学大学ICD-LAB

昔話を語る途中で物語の大切な部分を忘れてしまったり、ゴミ箱ロボットなのに自分ではゴミを拾えなかったり…一人では何もできないロボットたち。その弱さを開示することで、周りの人の強みや優しさを引き出してくれる。

暗闇の中、視覚を閉ざすことで
見えてくるものとは…



Museum

ダイアログ・イン・ザ・ダーク
一般社団法人ダイアログ・ジャパン・ソサエティ

暗闇の中、視覚障害者のアテンドのもと、視覚以外の感覚を研ぎ澄まし、冒険、対話をする体験型のソーシャルエンターテインメント。人と関わることの楽しさや、対話の大切さへの気づき、「自分はここにいる」という自己肯定感の高まりが期待される。